

広報



特集 中世大江物語

1500年の時を刻んで

本郷東小学校5年生の宿泊体験学習「冒険学校」が、7月12日から13日にかけておこなわれました。1日目は山里交流館「やまさあーべ」を拠点に、月布川の中を歩くリポートレッキングなどを体験。2日目は本郷地区内を歩きながら地域の自然や歴史などを学びました。小新地区では樹齢約1500年にもなる県指定天然記念物「神代カヤ」を見学。子どもたちは雄大で神秘的な巨木の姿に見入っていました。



平成30年

8

No.690

中世大江物語

今に残る歴史の足跡

鎌倉時代から戦国時代までの中世と呼ばれる時代、本町を含む西村山地域一帯を支配していたのは、鎌倉幕府の重鎮・大江広元の子孫である大江氏でした。その支配期間は実に400年近くにもおよび、国の史跡である左沢楯山城跡をはじめ、漆川古戦場、そして最期の地となった御館山など、町内のいくつかの場所でその痕跡を見ることができます。激動の中世に本町を治めた大江氏に改めてスポットを当てるとともに、現在の町に残るその足跡を追いました。

もうすぐお盆の時期、皆さんの先祖の歩みに思いをはせるとともに、町の歴史の名残を見つけてみませんか。

※今月の特集は、7ページに掲げた参考文献などをもとに作成しています。今回取り上げた歴史上の出来事の年代や場所、経緯、それに関連する人物などについては諸説あり、内容は事実と断定されたものではありませんが、本町の「歴史の真実」に向かう今後の研究成果に期待を持ちながら、あくまで「こういうことが起こった可能性がある」という一つの物語としてご覧ください。

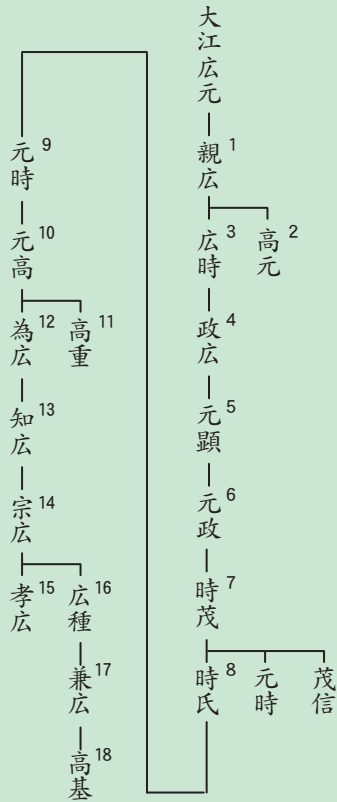
承久の乱で敗れた大江親広の家臣・中山忠義が付近に居住したといわれる阿弥陀堂（伏熊）

大江氏との縁の始まり

伏熊地区には、端午の節句の風物詩である「鯉のぼり」を立てないという風習があります。それだけでなく、神社といえどこにでもあるはずの鳥居も、この地区内にはありません。現在まで数百年間にもわたって守り続けているというこの地域独特の風習には、中世の時代に本町を治めた「大江氏」が深く関わっているといわれています。

「安仲坊系図」によると、大江氏の祖先は平城天皇とされており、一族からは「古今和歌集」などに作品を残した歌人・大江千里や、白河法皇の院政を補佐した大江匡房など、日本史上でも著名な人物が出ています。そして平安時代末期に生まれて大江氏を継いだのが、大江広元です。広元をはじめ朝廷に仕えていましたが、源頼朝によって鎌倉に招かれ頼朝の創業を助けました。鎌倉幕府における政所の初代別当に就任し、幕府の主要人物の一人として活躍。1189年（文治5年）に寒河江荘の地頭となります。「大江町史」によると、寒河江荘は現在の村山盆地の北西部、最上川の北・西の平野と山間に広がる地域のことであり、本

大江氏略系図



※「安仲坊系図」より



▲大江氏家臣画像（貫見・光学院）。最上段で正面を向いているのが、第18代当主・大江高基です

町もその一部でした。しかし、「寒河江市史」などの資料によれば、政務に勤しむ広元は代わりの者を派遣して土地の管理を任せ、鎌倉を離れることはなかったとされています。

風習の起ころは隠れ里

「大江町史」によれば、大江氏の当主として寒河江荘に初めて足を運んだのは、広元の長男・親広だとさ

られています。しかし、それは残念ながら地頭としてではなく、合戦に敗れての逃亡劇の末のことだったようです。以下、「大江町史」の記述に従いながら、親広の足跡を追ってみます。

1221年（承久3年）、後鳥羽上皇が鎌倉幕府打倒を目指して挙兵し、朝廷と幕府の間で合戦が起りました。いわゆる承久の乱です。大江広元は幕府の重鎮として京都への進撃を主張しますが、京都にいた長男の親広は朝廷側に味方せざるをえませんでした。

合戦は幕府側の圧勝に終わり、朝廷側として戦った親広は敗走します。「安仲坊系図」によれば、その後寒河江荘にたどり着き、現在の西川町中岫、次いで本町の富沢地区に潜伏したとされています。

町文化財保護委員長などを務めた故・高山法彦氏の論文「大江富沢城の意義」によれば、富沢地区の西側には「富沢城」があり、親広はここに潜伏していました。この際、最上川の対岸の伏熊阿弥陀堂付近に家臣の中山忠義を住まわせることで、幕府の追っ手に対する備えとしていたようです。

伏熊地区に現在も残る「鯉のぼり

を立てない」といった風習は、親広が幕府の兵に見つからないように警戒していたため、目立つものを避けた名残だともいわれています。

町を見下ろす壮大な城

承久の乱からおよそ10年後、親広は幕府に背いた罪を許されず。その後数代を経て大江氏は寒河江荘に定住するようになり、この地に深く関わっていくことになりました。

時代が進んで南北朝の動乱期に入ると、寒河江を本拠地とする大江氏は南朝側に味方して北朝側の軍勢と争います。大江氏第7代当主の大江時茂は、息子たちを領内の要所に配置して防備を強化。その一人である元時は、最上川流域の重要地点である左沢を本拠地としました。

左沢楯山城が築かれたのは、この元時の時代、14世紀半ばだといわれています。楯山城は地形を利用した堅固な山城であり、その城跡は平成21年2月に国の史跡に指定されました。発掘調査の結果「千畳敷」や「八幡座」など数々の遺構が見つかっており、散策路などの整備工事に向けて発掘をはじめとする作業が進められています。

漆川の戦い

三 大江軍



斯波軍

漆川古戦場 山形縣

漆川古戦場碑と古戦場跡に広がる田園風景（諏訪原）

数万人の大軍勢が 漆川に押し寄せる

激戦の爪痕が今も残る

荻野地内の長泉寺の境内に、石造の供養塔があります。昭和初期、この寺の境内から大量の人骨が発掘されるという出来事がありました。実はこの境内は、今からちょうど650年前に起こった壮絶な合戦で戦場となった場所であり、地中から見つかった人骨はこの戦いで犠牲になった人々の遺骨ではないかと考えられました。

1338年（延元3年／暦応元年）、光明天皇（北朝）を擁立して征夷大将軍となった足利尊氏と、これを認めない後醍醐天皇（南朝）が対立。朝廷が2つに分裂し、全国の武士が60年近くにもわたって争いを繰り広げたのが南北朝時代です。本町でも、両勢力が激突する大規模な戦いが起こった可能性があります。

合戦の舞台となったのは、現在の県道大江西川線沿いの諏訪原を中心とした地域であり、当時の地名から「漆川の戦い」と呼ばれています。

二大勢力がにらみ合う

「大江町史」によると、「安仲坊縁起」などの記述から浮かび上がる漆



Interview

長泉寺第19代住職
戸村法龍さん

漆川の戦いがあったのは今からちょうど650年前で、長泉寺が今の場所に建てられた時代よりもずっと以前の事です。ここは高台になっていて周囲を見渡すことができるため、合戦の際は守るのに有利な地形だったと思われます。漆川の戦いは本郷地域の広い範囲が戦場になったと言われていますが、この場所でも激しい戦いがあったのでしょう。

境内にある「漆川戦殉難者供養塔」の周囲には、本郷村をはじめ、当時の近隣町村の名が彫られた石柱があります。これは、大江氏に關係する地域の皆さんからの寄付によって、供養塔が建立されたことを示しています。

荻野地区の皆さんには、昔この周囲で大きな合戦があったということは広く知られており、町外からも歴史に興味のある方が時々見学に訪ねてこられます。供養塔や石碑など、目に見える「歴史の証人」が道しるべとなって、遠い昔のことが語り継がれていくのではないのでしょうか。



◀ 荻野・長泉寺境内に建てられた「漆川戦殉難者供養塔」。この付近で漆川の戦いの戦死者とみられる大量の人骨が発見されたことから、昭和11年、犠牲者を弔うために關係する町村や地区からの寄付を受け、当時の本郷村長が中心となって建立しました

川の戦いの概要は次のようなものだったようです。

14世紀半ば、現在の村山地方には足利一族の斯波氏しばが北朝側の一大勢力として存在し、各地の南朝勢力に圧力をかけていました。対する南朝側の大江氏も、領内の守りを固めて斯波氏に対抗。両陣営は最上川を挟んでしばらくの間にらみ合う格好となり、やがて戦火を交える時がやってきます。

1367年（正平22年／貞治6年）、鎌倉公方・足利基氏よしかぎ、そして征夷大將軍・足利義詮よしかぎが相次いで亡くなりました。2人の統率者を立て続けに失って足利政権が動揺する中、翌年の1368年（正平23年／

応安元年）、越後国（現在の新潟県）で南朝側の新田氏が兵を挙げます。しかし、この戦いは北朝側の勝利に終わり、敗れた新田勢の一部は出羽地方に逃れました。

これをきっかけに、北朝側は出羽地方の南朝勢力を一掃しようと、大軍で攻め込みました。「安仲坊縁起」によると、斯波兼頼をはじめとする北朝側の軍勢は、総勢数万人大軍勢。兵力で圧倒的に不利な大江氏でしたが、一族をあげてこの戦いに臨むことになりました。

ついに訪れた戦いの日

漆川の戦いにおいて大江氏側は、

7代当主大江時茂の子で、溝延を守っていた大江茂信、その弟で楯山城主の大江元時などの一族が、斯波氏の軍勢を迎え撃ちました。大江氏の軍勢の規模や両軍の進軍経路など、合戦の詳しい内容については資料が乏しく、分かっていないことが多くあります。

大江町史編纂委員へんさんを務めた故・沖津常太郎氏の著書「寒河江城を語る」によれば、斯波軍は防備の固い大江氏の本拠地・寒河江城を正面攻撃することなく、五百川方面から軍を進め、主力を富沢などに向けて大江軍をこの方面に引き付けるとともに、別動隊を月布川上流に派遣して大江氏を背面から攻めたのではないかとのことです。斯波軍は綿密な作戦のもと漆川に大江軍を追い込み、大軍をもって包囲した可能性があります。

戦いに敗れた大江軍は、現在の長泉寺境内付近に追い詰められ、大江茂信や弟の元時など61名がごとごとく自害。これによって大江一族は大打撃を受けたものの、北朝側に降伏してそれまでの領地を引き続き領有することが認められ、茂信や元時の弟・時氏が後を継いで大江氏は存続していきます。

貫見地区は、大江氏第18代当主大江高基が自害した地として知られています。その名残を示すように、周辺の地名には高基の逃避行の逸話に由来するといわれているものが多くあります。

月布地区の「烏帽子山」は、高基の帽子に形が似ていたことから名づけられたといえます。同じく月布の地名である「長坂」は、高基が敵兵から逃れる途中、疲労のあまり上り坂が長く感じられたという言い伝えがあります。

他にも、最後の水を飲んだという「最後田」、疲れて袖さえも重く感じ、邪魔になって切り捨てたという「袖山」、逃げ切れないと悟った高基が飼っていた鷹を放した「鳥野」など、高基の逃避行の様子を伝える地名は七軒地区に数多く存在しています。

長年にわたって寒河江荘を治めてきた大江氏当主の悲劇的な最期が、この地に暮らしていた人々にとっていかに印象深い出来事だったかがうかがえます。大江氏による統治はどのように幕を閉じたのか、「大江町史」などの記述からその経緯を追ってみました。

因縁の戦いに終止符 一時代に幕を下ろす

Interview

光学院第22代住職
佐藤宗厚さん



この光学院は、今から約460年前に寒河江市の澄江寺の第3代住職が開いた寺院です。その澄江寺は、1471年に山口県の大寧寺の僧が開山した寺であり、当時の大寧寺の住職は大江氏第10代当主大江元高公の弟にあたります。

大江氏最後の当主である第18代高基公が自害した際に使ったとされる短刀が、この寺に残されています。どのような経緯でこの寺に伝わったのかは分かりませんが、一説には高基公が自害した後、その家臣が高基公の首と一緒にこの刀を運んだのではないかともいわれているそうです。他に、弓の名手といわれた松田彦次郎の弓、高基公とその家臣を描いた掛け軸もあります。こうした歴史の遺物や地元に残る大江氏の逸話などが、この町の歴史の深さを物語っているように思います。

因縁の対決とその決着

戦国時代末期、村山地方では山形城を居城とする最上氏が勢力を強めていました。最上氏は、漆川の戦いで大江氏を打ち破った斯波兼頼の子孫であり、最上義光が当主の時代に最盛期を迎えることとなります。

家督を相続した後、敵対勢力を次々に撃破していった義光は、次の目標を西村山地方に定めます。当時のこの地では寒河江城の大江氏のほか、谷地城主の白鳥長久が最上氏と敵対していました。1584年（天正12年）6月、義光は病にかかったと偽り、山形城へ見舞いに訪れた長久を斬殺したといわれています。「寒河

江市史」によれば、義光はすかさず軍勢を率いて谷地城を攻略し、続いて大江氏の寒河江城に攻め込もうとしました。

これに対して、大江氏側は羽柴勘十郎らの武将や白鳥氏の残党を合わせて最上軍を迎え撃ちます。勇猛な戦いぶりで善戦した羽柴勘十郎ですが、最上軍の計略に掛かって討ち取られ、大江氏側は兵士たちのほとんどが降伏するなどして壊滅してしまいます。

歴史の伝言は今に続く

「寒河江市史」によると、大江氏の軍勢を打ち破って寒河江城に攻め

大江氏支配の終幕

三 大江軍



最上軍

大江高基の最期の地となった御館山（貫見）



▲大江高基が自害した際に用いたと伝わる短刀。貫見・光学院に保管されています

寄せた最上義光に対し、敗れた大江高基はわずかな家臣たちとともに逃れたと考えられています。目指す先は、高基の甥・松田彦次郎の館がある貫見でした。

背後に迫る最上軍から必死に逃げようやく彦次郎の館にたどり着いた高基ですが、最上軍の追及の手はなおも激しく、御館山の山上へ追い詰められて3人の部下とともに自刃します。高基に従ってきた他の12人の家臣たちも、後を追って自害。およそ400年間にわたり寒河江荘に關わり続けてきた名門大江氏の歴史に、1つの幕が下ろされた出来事でした。

貫見地区の光学院では高基が自刃の際に使ったと伝えられる短刀が保管されているほか、御館山に近い楢の沢の林の中には、高基の首洗いの井戸と呼ばれるものがあるなど、貫見周辺には大江高基の最期を伝える遺物や逸話が数多く残されています。

本町の歴史には知られていないことがまだまだ多くありますが、歴史上の出来事を示す痕跡は町内各地に見ることが出来ます。皆さんのお住いの地区にある「古い石碑」や「しきたり」も、もしかしたら遠い昔の人物が未来に託したメッセージなのかもしれません。

《参考文献》

- 「大江町史」 大江町史編纂委員会
- 「寒河江市史 上巻」 寒河江市史編纂委員会
- 「寒河江城を語る」 沖津常太郎
- 「法彦集」 高山法彦
- 「地名を採る」 小関昌一
- 「地域の歴史と文化」 松田 進
- 「荻野・堂屋敷地区史」 荻野・堂屋敷地区史編纂委員会
- 大江町歴史副読本「ふるさとの歴史」 大江町教育委員会



語られる恐怖の体験談……



息を吞んで話に聞き入る……



1話終わるごとにろうそくの火が消されていく——

大江町の博覧会

SHAKE LAB

2018-19 SUMMER

百物語

大江町の怪談・奇談

OE REPOWER PROJECT 主催の、町に関わるあらゆるものが集うイベント「シェイクラボ」が、7月25日から29日まで5日間にわたって開かれました。今回は「大江町の怪談・奇談スペシャル」と題して、富沢地区の大澤寺を会場に座談会形式で開催。参加者がそれぞれ見聞きした怖い話や奇妙な話などを語り、5日間で合計100話の怪談が語られました。また、会場内には町内出身者の美術作品が展示されたほか、25日には周辺の地域を散策して地区に伝わる話などをもとに「妖怪」を図案化する「妖怪採集ワークショップ」、28日と29日には境内で縁日もおこなわれ、町内外から訪れた多くの参加者が夏ならではのひとときを楽しんでいました。

静かな暗闇の中で何かが起こる——

百本目のろうそくの火が消えた時



庄内金魚すくい



スーパーボール&水ヨーヨーすくい



会場となった富沢・大澤寺

平成30年8月3日・8



▲商業施設が出店することになった駅前町有地

1 ■商業施設が駅前に出店 ～駅前町有地活用方針決定～

JR左沢駅前の町有地については、これまで町民アンケートや町民検討会議を実施して活用策を検討してきました。

このたび、アンケートや会議において要望の多かった「商業施設」として、株式会社ヤマザワ薬品がドラッグストアを出店することに決まりました。医薬品や雑貨のほか、日用品や加工品、食品や飲料なども取りそろえる予定となっています。

2 ■猛暑と熱中症に引き続き注意を ～熱中症予防対策～

7月中は全国的に気温の高い日が続き、国内の最高気温の記録が5年ぶりに更新されるなど、各地で記録的な猛暑となりました。左沢観測所でも日中の最高気温が35度を超える猛暑日を記録し、8月に入っても厳しい暑さが続いています。

暑さにより体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなることで起こるのが熱中症です。水分の補給や冷房の使用などの対策をとり、引き続き熱中症予防を心掛けましょう。

〈熱中症になった場合の対処法〉

- ・ 涼しい場所へ避難
 - ・ 衣服を脱がせ体を冷やす
 - ・ 水分・塩分を補給する
- それでも回復しなければ医療機関へ

- ・ 意識がない
 - ・ 呼びかけに対し返事がおかしい
 - ・ 意識はあるが水分補給できない
- 救急車を呼ぶ
(待っている時は涼しい所へ)



▲生徒と間近で言葉を交わすゴルゴ松本さん

3 ■「命」を語る熱いメッセージ ～ゴルゴ松本 人権講演会～

町と山形人権啓発活動地域ネットワーク協議会が主催する人権講演会が、7月24日に大江中学校体育館で開催されました。この講演会は今年度の地域人権啓発活動活性化事業の一つとして、講師にお笑いコンビ「TIM」のゴルゴ松本さんを迎え、「命の授業」と題して開かれたものです。

ゴルゴ松本さんは埼玉県出身で、お笑い芸人・タレントとして数々のテレビやラジオの番組で活躍。その傍ら、平成23年からは少年院などで「命」や「人生」をテーマとしたボランティア講演もおこなっています。

大江中学校の全校生徒と保護者や一般参加者を前に、ゴルゴ松本さんは漢字の成り立ちや歴史の逸話などを交えながら、命の大切さや人生の歩み方などについて講演。時には持ちネタのギャグを披露したり、生徒と一緒にモノマネをしたりして会場を沸かせる一方、小さな努力の積み重ねや挑戦する心の大切さなどを、多感な時期にある生徒たちへ熱い口調で語りました。

講演終了後には質問の時間が設けられ、生徒の悩みに対してゴルゴ松本さんは、自身の体験談をもとに親身にアドバイスしていました。



▲講演終了後、全校生徒と「命」のポーズで記念撮影

7/4 水しぶきをあげて好記録!

町小学校水泳競技大会が、7月4日に町民プールで開かれました。左沢小学校と本郷東小学校の5・6年生は、プールサイドからの声援を受けながら自己記録の更新に挑戦。5年男子50メートルバタフライでは28年ぶりの大会新記録も生まれるなど、白熱した大会となりました。



《競技結果》各種目優勝者のみ

★50m 自由形

5年男子/工藤 絆 (本東) 34秒8
5年女子/鴨田 七海 (左沢) 39秒9
6年男子/大沼 頼生 (左沢) 47秒8
6年女子/遠藤さくら (左沢) 37秒2

★100m 自由形

6年男子/吉田勇之介 (本東) 1分45秒6
6年女子/遠藤さくら (左沢) 1分27秒4

★50m 平泳ぎ

5年男子/伊藤 晃大 (左沢) 56秒5
5年女子/菊地 海咲 (左沢) 51秒3
6年男子/鹿間 優 (本東) 52秒5
6年女子/五十嵐鈴那 (左沢) 52秒3

★100m 平泳ぎ

6年男子/鹿間 優 (本東) 1分56秒1
6年女子/五十嵐鈴那 (左沢) 1分56秒2

★50m 背泳ぎ

5年男子/清水 陽 (本東) 1分02秒7
5年女子/菊地 海咲 (左沢) 55秒1
6年男子/田宮 夏葵 (本東) 55秒3
6年女子/軽部 美虹 (左沢) 45秒6

★100m 背泳ぎ

6年男子/石川 航 (本東) 2分13秒6
6年女子/軽部 美虹 (左沢) 1分36秒6

★50m バタフライ

5年男子/工藤 絆 (本東) 36秒6 (大会新)
5年女子/白田 乃愛 (本東) 1分20秒5
6年男子/佐藤 想 (左沢) 48秒3
6年女子/庄司 美結 (左沢) 48秒8

★200m 個人メドレー

6年男子/吉田勇之介 (本東) 4分19秒0

★200m メドレーリレー

男子/左沢小5年 3分22秒1
女子/左沢小6年 3分04秒1

★200m リレー

男子/左沢小5年 2分54秒5
女子/左沢小6年 2分46秒3

7/3 真っ赤であま〜い贈り物

子どもたちに地元のさくらんぼを味わってもらおうと、7月3日にJAさがえ西村山から町内の小学校にさくらんぼが贈呈されました。贈られたのは、町産の「紅秀峰」合わせて10kgです。

この日、左沢小学校では贈呈式がおこなわれ、さくらんぼ部会大江支部の清野親太郎部会長（市の沢）から児童代表の2年生・鈴木篤人くん（小見）に紅秀峰が手渡されました。清野さんは「紅秀峰は実が大きくて甘いのが特徴です。町にはおいしい果物や野菜があるので、たくさん食べて元気に過ごしてください」と児童に話していました。





7/7 壮絶な原爆体験を語り伝える

町社会福祉協議会による大江町戦没者追悼式が7月7日にふれあい会館でおこなわれ、特別企画として広島で原爆を体験した瀬越睦彦さんを迎えての講演会が開かれました。東京で生まれ育った瀬越さんは、10歳の時に広島の祖母の家に疎開し、その翌年に被爆。変わり果てた広島の惨状や被爆後に必死に生き延びた日々などの生々しい体験談に、来場者は真剣に耳を傾けていました。

また、会場のロビーには原爆の写真パネルや熱線で焼けた瓦、戦地から家族へ宛てた手紙など、戦時中の貴重な資料が展示されました。



7/28 歴史の足跡を再発見

「ぶくらすカレッジ」の講座の1つ「おらだのまち探訪」の第1回学習講座が7月28日に開かれ、「小漆川城と町の変貌を学ぶ」と題して町歩きをおこないました。

この日は23人が参加し、観光ボランティアガイドの会会長の石川博資さん（葛沢）の案内で、13区と小漆川地区内を散策。神明神社や巨海院所など、江戸時代初期の小漆川城にゆかりのある場所を見学しました。城跡を示す石柱などを見て「ずっと町内にいるのに、初めて見た」と驚く参加者も。まさに「歴史再発見」の1日となりました。



8/1 輪になって真夏の夜を満喫

総合福祉施設らふらんす大江の夏まつりが、8月1日に開催されました。施設前の広場では花笠踊りや山形盆踊りがおこなわれ、施設利用者とその家族をはじめ、地元の蛍水区子ども会、各団体の皆さんのほか、一般の方も加わって大勢の方が参加し、お馴染みの節と太鼓のリズムに乗って軽快に踊りを楽しみました。

アトラクションでは、踊りを中心に活動している団体の皆さんが、剣舞や日本舞踊、よさこいソーランなどを披露。提灯の明かりが照らす会場で、多くの方が夏の夜の風情に浸っていました。



7/30 満開の花が地域を活気づける

富沢地区内の蓮の池公園の蓮の花が、7月下旬に見頃を迎えました。3年前、休耕田だったこの場所を有効利用しようと、当時区長を務めた菊地清さん（富沢）が中心となって20株の蓮を植えたところ、今では約700平方メートルの土地の大部分に蓮の花が咲き誇るようになりました。

「地区の方が毎朝この蓮の花を見て『きれいだな』と思ってもらえれば嬉しいです」と語る菊地さん。今年5月には地区の婦人会の皆さんも協力して草取り作業がおこなわれるなど、地域の絆が美しい花を咲かせる力となっています。

町長 Column

今は朝の4時半、昨日も太陽は顔を見せないどんより一日だったが、今日もまた太陽は昇ってきていないし、なぜか蝉の声もなく、静かで涼しい高原の気分の朝だ。連日の皮膚を焼くような猛暑にへとへとだった生き物たちへの「海の休日」だったに違いないし、今日も昨日くらいの夏の暑さであれば、願うばかりだ。そういえば土曜日の朝、数匹の油蟬が庭に仰向けになってひっくり返っていた。確かに暑すぎる。

東日本大震災の時には雪が降り、今回の西日本の豪雨災害では炎天猛暑、被災された方々に二重の苦難を背負わせ追い打つような自然現象は、何かの、誰かの「悪意」を感じさせる「悪魔のような天気」だ、と話す人がいた。こともあるうに家を失った方々に「眠れない暑さと寒さ」では、お天気次第は認められず、無慈悲な天気そのもので、嫌いな天気だ。何かできることはないのか、被災された方々の「頑張り」をお祈りしたい。

先にも書かせていただいたが、「温暖化」は暖かくて優しい気候を表す言葉に思えなくもないが、「気候変化―気候急激変化」となれば「命の危険」が含まれる言葉と思いたい、急激変に「激変緩和」なかりせば、安心安定な生活は成り立たない。眼に見えない「天気」のゆっくりに感じている変化が、実は猛スピードで進行している「激変」だとしたら……、人類よ、「気候激変緩和策」を打て、と願いたい。さしあたってストローは麦わら帽子を作る「麦の茎」、明日から麦わら帽子をほどこいてストローでも作ってみるか……。

「心は天気を動かさないが、物が天気を動かしている」と多くの方が指摘してきたし、警告している。現代に生きる世界の人々の「物の使い方」に「警報」が出ているのではないか、天気予報の「警報」と同じように。人と蝉はどこが違うか。まだ蝉の鳴き声は聞こえない。

大江町長 渡邊 兵吾

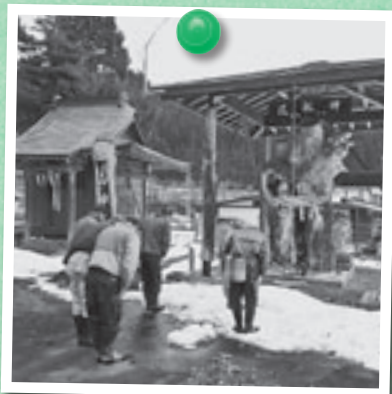
地域おこし協力隊通信

No.45



貰いで暮らし始めてから1年以上経ちました。山里での暮らしは、自然と密接に関わりあったことで生まれた文化や歴史がたくさんあり、私はその豊かな暮らしにどんどん惹きつけられていきました。厳しい冬を乗り越えるための塩蔵や乾燥、寒風干し、雪室などといった食の保存方法や工夫。お祭りやおさいとう、餅つき、わらない、雪中田植え、お茶飲みなどの年中行事や文化。江戸時代には最上川舟運で栄え、商店街に当時の面影を残す国選定重要文化的景観や町発展の礎を築いた青芋、また国指定史跡左沢楯山城跡といった史跡や歴史。たくさんの野生動物が暮らし、さまざまな種類の山菜やきのこが採れる豊かな自然の恵み。あげていくときりがない程の魅力が大江町には詰まっています。そして1つ1つに大江ならではの物語があります。町民の方には当たり前の日常だと思いますが、大阪から移住してきている私にとっては感動する毎日。明日はどんな出会いがあるのか？ いつもわくわくしながら眠りにつきます。

地域おこし協力隊 村中亮竜



↑山の神神社へのしめ縄奉納

短歌

雷雨来て強く降りたる庭園にお祈りしてる老身の姿

松田 靄

庭隅の焔で取れたる茄子胡瓜南蛮オクラやだしの美味しき

佐竹磨砂湖

一番の馳走なるかな水音よ

チヨロチヨロゴオーゴオーサラサラドウドウー 山家 重之

半夏生のはつはつ咲けば南光梅熟れて今年も太陽漬に

菊地つねよ

春も行き梅雨を待ちつつ伽羅はさみこぼれ日さして庭夏衣

佐竹 與鼓

病む妻と会話もなくして手をとりにて笑顔を見れば無言の会話

齋藤 徳治

俳句

ナイトハイク蜜狩りとしてあちこちと 阿部 一風

常夏月舟唄音色の身にしみて 鴨田富士夫

夏帽子隠し通した皺の顔 松田 靄

紫陽花に池も金魚も夢心地 山家 重之

片蔭を来る叔母の腰九十度 熊谷 勉

割り箸の木の香も菜味冷奴 舟山 三男

昼餉どき訃報舞込む蝉時雨 伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆ うろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

さがえ西村山農業協同組合に今年4月から勤務している前田さん。寒河江市内の支所で営農経済課に所属し、農業用資材の発注や配達を主に担当しています。「6月から7月上旬にかけてはさくらんぼの収穫の時期で、ピーク時は1日10トン以上のさくらんぼが集積場に集まるので、その仕分け作業が大変でした」

前田さんの特技は、小学校2年生から大学まで15年間続けてきたという卓球です。その面白さに本格的にのめり込んだのは、高校生の時だったといいます。

「高校の卓球部の監督が三部航平選手のお父さんだったので、強豪校とも練習試合が組まれていました。レベルの高い選手と試合をすることで、自分がどんどん上達していくのが実感できたんです」

当時小学生の張本智和選手とも試合をしたという前田さん。今も町内の子どもたちに指導しながら卓球を続けています。

卓球で培った向上心を仕事に生かし、子どもたちにも卓球の面白さを伝えていきたいと、目標を語ってくれました。

前田 峻さん
(22歳・4区)

強豪との試合経験が今も生きる

シリーズ企画

月刊

仲間とエンジョイ!

No.18

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

いとぐるま

代表：阿部てる子さん(原)

いとぐるまは、町内で絵本などの読み聞かせをおこなっているボランティアサークルです。平成4年4月から「おはなし会」を開始し、現在も月に1回(第4土曜日)町立図書館で「おはなし会」を開いています。保育園や学校などから依頼があった場合にも読み聞かせをおこなっており、最近では特別支援学校や地区の老人クラブでも読み聞かせを実施したそうです。

「読み聞かせをすると、子どもたちが感動する様子がこちらまで伝わってきますね」と話す、代表の阿部さん。「町の子どもたちに本の楽しさを伝えようと始まったサークルですが、今では私たちの方が元気をもらっているように思います。これからも気持ちを若く持って続けていきたいですね」



▲いとぐるまの皆さん



▲図書館での「おはなし会」の様子

お知らせ

Information

農地パトロールに伴う調査員の立入りについて

農地法により「農地の利用状況に
ついての調査」を実施することが義
務づけられています。今年度も「農
地パトロール（利用状況調査）」を
おこない、農地の違反転用の発生防
止、耕作放棄地の発生防止に取り組
みます。

調査に際し、調査員が所有地に立
ち入る場合がありますので、ご理解
とご協力をお願いします。

◆調査期間／8月～9月

◆調査員／農業委員・農地利用最適
化推進委員・町職員など

◆内容／農地の現時点での利用状況
などの調査

問 農業委員会事務局 ☎(62) 2868

柳川温泉の従業員募集

奥おおえ柳川温泉の従業員を募集
します。

◆募集人員／2名

※詳細については、お問い合わせせ

ださい。

問 株大江町産業振興公社

☎(85) 1126

平成30年度

山形県社会福祉事業団職員募集

◆募集職種・採用予定人員①主事

（一般事務に従事）1名程度、②援
助員（利用者の援助業務に従事）2
～3名程度

◆受付期間／9月14日（金）まで

問 社会福祉法人山形県社会福祉事業
団事務局 ☎023(623)9127

出合い支援サービス ご利用ください

山形県、35市町村、経済団体など
で組織する「やまがた出合いサポー
トセンター」は、結婚を希望する独
身者を応援するため、ウェブを活用
し希望に合う相手を検索・閲覧、1
対1のお見合いの申込ができる会員
制のマッチングシステムを運用して
います。

20歳以上でインターネット環境
（パソコンやスマートフォン）があ
る方なら、どなたでも登録いただけ
ます（登録料1万円、登録期間3年
間）。「出合いの機会がない」、「本気
で結婚を考えている」という方、ま

世界の料理教室

～家庭で作れる南フランス料理編～

国際文化に触れていた
だくために、「世界の料
理教室」を開催します。
南フランスを実際に旅さ
れた森谷先生から体験談
を聞きながら、現地の調
味料などを使って楽しく
クッキングしましょう。
ふるってご参加ください。



◆日時／9月1日（土）10時～

◆会場／中央公民館クッキングルーム

◆講師／料理家 森谷恵美子氏

◆献立／夏野菜と家庭で育てるハーブなどを
使った南フランス料理3品程
※食物アレルギーの心配がある方は、あらか
じめお問い合わせください。

◆参加費／大人800円、子ども500円、
未就学児・協会会員の方は無料

◆定員／20名

問 おおえ国際交流協会事務局

（政策推進課政策推進係）☎(62) 2118

ずはホームページをご覧ください。

問 出合い支援サービス山形センター

☎023(687)1972

55歳以上の方限定

「就職を応援する技能講習会」

◆講習名／介護補助スタッフ養成

◆開催期間／10月10日（水）～19日

（金）（8日間）

◆会場／寒河江市中央公民館（寒河

江市大字西根）

◆定員／10名

◆対象／55歳以上の方でハローワー

ク登録カードをお持ちの求職中の方

◆費用／無料

◆申込方法／ハローワークに配置し

てある技能講習パンフレット添付申

込書またはチラシ申込書にて

◆申込期限／9月25日（火）

問 山形県シルバー人材センター連合会

☎023(626)3566

「介護のついで」ミニ講座の お知らせ

無資格・未経験の方でも、介護の
仕事に興味のある方であればどなた
でも参加可能です。

◆日時／9月11日（火）13時半～15時半

◆会場／特別養護老人ホームしらいわ

（寒河江市大字白岩）

大江町交通安全町民大会を開催します

町民一人ひとりが交通安全を誓い、「明るく豊かな大江町」「安全で安心な大江町」を実現し、交通事故防止の意識高揚と飲酒運転の撲滅を図るため本大会を開催します。



◆日時/9月2日(日)9時半～

◆会場/ふれあい会館

◆内容/○高齢者交通安全講習会(山形県交通安全協会 山形県交通安全活動推進センター)、○大江中学校吹奏楽部による演奏、○かもしかクラブによるステージ発表(大江幼稚園・にじいろ保育園 園年長児)、○決意表明(左沢高校生活委員)

大江中学校吹奏楽部による演奏に合わせて、かもしかクラブの園児と県警のマスコット「カモンくん」が交通安全マーチを披露します。死亡(脂肪)ゼロの玉こんにゃくの振る舞いもありますので、ぜひご家族でお越しください。

問 大江町交通安全対策協議会事務局
(総務課危機管理係) ☎(62)2187

「ふれあい合同面接会」
障害者のための
「ふれあい合同面接会」
ハローワークやまがた・むらやま・さがえの3所合同による「2018 障害者のための『ふれあい合同面接会』」を開催します。

問 山形県福祉人材センター
☎023(633)7739

◆内容/介護職員の講話と介護施設見学
◆参加費/無料
◆対象者/介護の仕事に興味のある方
問 山形県福祉人材センター
☎023(633)7739

◆日時/9月20日(木)13時～16時
◆会場/山形ビッグウイング(山形市平久保)
◆対象者/ハローワークやまがた・むらやま・さがえ管内に就職を希望する障害者で障害者手帳を所持している方
◆内容/参加企業と参加求職者の個別面談
◆開催規模/企業60社、求職者300名
問 ハローワークさがえ専門援助部門
☎(86)4221

◆日時/9月20日(木)13時～16時
◆会場/山形ビッグウイング(山形市平久保)
◆対象者/ハローワークやまがた・むらやま・さがえ管内に就職を希望する障害者で障害者手帳を所持している方
◆内容/参加企業と参加求職者の個別面談
◆開催規模/企業60社、求職者300名
問 ハローワークさがえ専門援助部門
☎(86)4221

大江町メール配信サービスをご利用ください!

「大江町メール配信サービス」は、電子メールで行政情報などを提供するサービスです。どなたでも無料で登録することができます。

◆配信内容/

- ①生活情報…町からのお知らせ、福祉、子育て、生涯学習など
- ②観光・イベント情報…観光、イベント、スポーツイベントなど
- ③防災情報…防犯、防災、土砂災害など



ご登録はこちらから↓



善意いただきました
故・若松健衛様(13区)より、町へ100万円を寄付していただきました。頂いた寄付金は、町の福祉の向上のために有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

編集後記



「漆川古戦場」の石碑の横に立つ時、見渡す限りの広大な田園風景の向こう、何万もの軍勢が土煙をあげながら駆け抜ける光景が鮮やかに脳裏に浮かびました。いつの日か、本町に関連する人物がNHK大河ドラマの主人公になることを願っています。
(伊藤智治)

町の歴史をテーマにした特集は、私にとって初めての試みでした。冒頭に書いた通り、今回の特集は1つの「物語」として読んでいただければ幸いです。極端な言い方をすれば、歴史というものは発掘物や文書などから分かる事実の積み重ねに過ぎず、今に生きる私たちが古い時代の出来事を垣間見ることができるとは、ひとえに地道な調査をもとに研究を重ねてこられた研究者の皆さんの努力のおかげだといえます。しかし、専門家ではない大多数の方にとって、「生の史実」とは無味乾燥で面白味のカケラもない代物に思えるのではないのでしょうか。
源平合戦、戦国の群雄割拠、幕末の動乱…私たちが心から「面白い」と思える歴史には、個性的な人物たちが織りなす魅力的な「物語」があります。当然そこには虚実が織り交ぜられており、学術的にはなんら価値を持たない「作り話」に過ぎないのかもしれない。しかし、遙かな時を超えた世界に人々を誘う「入門書」として、「物語」は必要なものか。に思えてならないのです。
「漆川古戦場」の石碑の横に立つ時、見渡す限りの広大な田園風景の向こう、何万もの軍勢が土煙をあげながら駆け抜ける光景が鮮やかに脳裏に浮かびました。いつの日か、本町に関連する人物がNHK大河ドラマの主人公になることを願っています。
(伊藤智治)

思い出の まいぞうひん My 蔵品

No.34

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲昭和55年からさまざまな機種が発売された任天堂の「ゲーム&ウォッチ」。藤野さん所有の2つの機種のうち、「ボール」(右)は液晶画面が傷んでいますが、「ファイア」(左)は今でも遊ぶことができます



▲懐かしいゲームに興じる藤野さん



▲取扱説明書も大切に保管されています

小学校4年生の時、お小遣いを貯めて、今は駅前の更地になっている場所にあったスーパーのおもちゃ売り場で購入しました。当時は腕時計も持っていなかったので、時刻が分かる液晶画面の携帯ゲームはとても画期的なものでした。小学校の宿泊研修(本当はダメ?)やボーイスカウトのキャンプに持っていき、友達の間で機種の交換して夜遅くまで遊んだ記憶があります。

その後、キャラクターがより複雑な動きをするカラー液晶のゲーム機やテレビゲーム(ファミコン)が発売され、ゲーム&ウォッチはおもちゃ売り場から姿を消してしまいました。

小学生のころに遊んだ他のものと一緒に段ボール箱に保管していましたが、今も正常に動作するには驚きました。息子に遊ばせてみたところ、はじめは興味津々でしたが、すぐに飽きてしまいました。

(9区 藤野知樹)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか? 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

6月21日～7月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
9区	西村 充希 ^{みつぎ}	女	基喜・梨紗
みなみ	佐々木 優心 ^{ゆうしん}	男	誠・由井

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(13区 橋上)	安孫子 博司 柏倉 志保

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
木の沢	羽柴 敏江	(88)
木の沢	花山 昇	(76)
9区	佐竹とめよ	(94)
堂屋敷	阿部茂喜治	(97)
柳川平	東海林フミヨ	(79)
小見	伊藤 和子	(70)
9区	松田 國男	(84)
6区	公平トミ子	(92)
若原	鹿間 操	(91)
深沢	菊地 秀男	(81)
藤田	菅野喜恵子	(71)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,274人(-10)
男	4,113人(-6)
女	4,161人(-4)
世帯数	2,932戸(+2)

平成30年8月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。